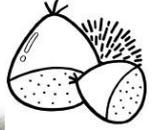


# びょうたけいけ

桜台小 学校だより  
令和2年11月6日  
第24号



5年生が、新型コロナウイルス感染症対策のために様々な制約のある中で、水沢町にある少年自然の家を利用して、1泊2日の自然教室に行ってきました。学校で、出発式をした後、貸し切りバスで、一路自然の家に向かいました。



到着して、まず里山保全活動を行いました。班で協力して、直径5cm未満の常緑樹を伐採し、地面まで日光が届く山にする作業です。伐採した木は、薪に使えるサイズに裁断までしました。

次は、ウォークラリーです。班で、どの順番でチェックポイントを通るかを計画してスタートです。「鹿に会った!」と興奮気味に、通り過ぎる班もありました。表彰式もありました。



夕食をとって、いよいよキャンプファイヤーです。多くの先生方が応援に駆けつけてくれました。営火長の話のあと、分火の儀式を行い点火。真っ赤な炎が夜の闇を照らしました。さあ、みんなでお楽しみの時間です。マイムマイムなどのダンスや震源地などのゲームを楽しみ、楽しい夜は更けていきました。



2日目は、6時15分から早朝ハイキングで、展望台まで上がりました。朝日が昇り、東の空と海が赤く染まっていて、四日市市の街を見渡すことができました。子どもたちから、歓声が上がったことは言うまでもありません。朝食の後、カヤック体験とマイ箸づくりを行いました。



この2日間は、雨の心配もなく、計画したプログラムが予定通り実施できました。子どもたちが1人1役を担うことで、ひとりひとりが責任をもって活躍する場ができました。

家庭を離れて生活することで、家族のありがたさを実感したことでしょう。一方で、社会の一員として、誰もが心地よく過ごすためには、他人とのやり取りが大切なことや気を付けなければならない社会のルールがあることに気づくことができたと思います。ぜひ、今後の生活に生かしてほしいと思います。(文責 ) ※桜台小 HP アドレス <http://www.yokkaichi.ed.jp/~sakurada/cms2/htdocs/>